



平成 28 年 4 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社DTS
代表者名 代表取締役社長 西田 公一
(コード番号 9682 東証第1部)
問合せ先 常務取締役 坂本 孝雄
(TEL:03-3437-7522)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 5 月 12 日に公表致しました平成 28 年 3 月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正しますのでお知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 28 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

【連結業績】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 77,000	百万円 6,700	百万円 6,750	百万円 4,550	円 銭 193.41
今回修正予想(B)	82,530	7,600	7,690	4,330	186.16
増減額(B-A)	5,530	900	940	△220	—
増減率(%)	7.2%	13.4%	13.9%	△4.8%	—
前 期 実 績 (平成27年3月期)	74,609	6,432	6,518	3,692	156.74

【(参考)個別業績】

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 52,000	百万円 5,650	百万円 4,150	円 銭 176.40
今回修正予想(B)	56,070	6,370	3,810	163.80
増減額(B-A)	4,070	720	△340	—
増減率(%)	7.8%	12.7%	△8.2%	—
前 期 実 績 (平成27年3月期)	50,489	5,611	4,745	201.47

(2) 修正の理由

金融業の大規模システム統合等、開発需要の増加により、売上高、営業利益及び経常利益は当初の予想を上回り、過去最高を更新する見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失(注)の計上により、当初の予想を下回りますが、同様に過去最高を更新する見込みです。

(注)特別損失について

当社は、全国情報サービス産業厚生年金基金に加入しておりますが、厚生年金基金制度を取り巻く将来にわたる環境変化等を踏まえて、平成28年3月に同基金に脱退の申入れを行いました。同基金からの脱退に伴い、特別掛金12億3千万円の支出が見込まれることから、特別損失として計上しております。

なお、同基金からの脱退時期については、今後、同基金における代議員会の同意及び厚生労働省の認可等が必要であるため、平成28年10月を予定しております。

また、同基金脱退後は、当社社員の生活の安定を図ることを目的として、確定給付型企业年金制度の導入を予定しております。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想	20円	35円	55円
今回修正予想	—	40円	60円
当期実績	20円	—	—
前期実績 (平成27年3月期)	15円	35円	50円

(2) 修正の理由

当社は、株主皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと認識しており、中長期的な企業価値の増大が利益還元の最大の源泉となると考えております。今後も事業拡大に必要な内部留保を考慮し、業績動向や財務状況等を総合的に勘案した上で、安定配当を継続的に行うことが株主皆様への中長期的な利益還元に貢献するものと考えております。

このような方針に基づき、今回の業績予想修正を踏まえて、当期の期末配当予想を直近の配当予想から5円増配し、1株あたり40円に修正し、年間の配当予想を55円から60円に修正致します。

(注)上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成しており、リスクや不確定な要因が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により予想とは異なる結果となり得ることがありますのでご了承願います。

以 上